

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

2014年6月号

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 小久保 正

発行所

日本クリスチャン・アカデミー
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第555号

アシユリー事件のことを耳にしたのは、いつだったのだろうか。

二〇〇四年、アメリカで六歳になる重症重複障がい者の女児が、両親の同意のもと三つの医療を施された。まずホルモンの大量投与によって身長を制限すること。さらに子宮摘出によって生理と生理痛の除去。そして初期乳房芽の摘出により乳房の生育の制限すること、以上の三つである。

これらは障がいを除くための治療ではなく、「アシユリー」の将来を慮った両親が医師と相談して実施したものであった。なぜ悪くもない子宮を摘出したのか。身長を抑制しようとしたのはどうか。乳房の発育をなぜ制限したのか。それぞれ意図があったのか。それぞれ意図があったのか。それによって、たとえ生涯にわたって介護をする上で長身の人を抱きかかえる等が困難であるといったのが身長抑制の理由だという。介護というものが決して愛情や理想だけで全うできるものではない以上、現実的といえれば現実的である一方で、そのような医療処置にはやはり違和感が残る。女児の人間としての尊厳よりもその最大の利益が選択されたのだと主張される

が、そのような医学的侵襲はどこまで正当化されるのか。たとえば子宮摘出による強制不妊には、やはり優生思想が垣間見られる。二〇〇七年にアメリカの障がい者人権擁護団体であるWPASは、この強制不妊を行ったシアトル子ども病院を法律違反で指弾した。

児玉真美さんの『アシユリー事件』(生活書院)は、

アシユリー事件から考える



財団評議員
関西セミナーハウス活動センター運営委員
土井 健司

ご自身同様のお子さんを育てられていることもあいまつて、当事者の視点を共有しながらこの事件の顛末を扱っている。事の顛末やこの出来事が生み出した影響を丁寧に拾いながら、よく整理された内容構成となっている。その筆致は決して原理原則論にもとづいたものではなく、むしろ同じ子育てを経験する親としてのこだわりと感性にもとづ

ができるように、ともに介護をになう社会の構築ではないのかと指摘する。

「自分にも同じこと」「子供の子宮除去」をやらせると迫る親たちに、「確かに親が一番分っているし介護負担を担っているのも親なのだから、その親がこれほど望むなら手術でも成長抑制でもやらせてあげよう」と応えてしまふことは、表面的には親の思いを理解しその願いを受け入れることのように見えるかも

しれないが、実はこれまで通りに親だけが背負う介護をよしとすることであり、彼らのSOSに逆に耳をふさぐことになりはしないか。それは結局、さらに子供を深く抱え込みにくくしてしまふことであり、そんなふうを抱え込んだ挙句に親が子を連れて死ぬ以外に選択肢がない、狭く希望のない暗闇へと、親をさらに追い詰めていくことではないのだろうか。」(二五〇頁)

わたしたちの社会の有り様が問われている。子育てや介護、看護の現実を考えるとできるだけ多くの人が関わった方が負担が減って担いやすい。生命倫理の問題は、ひとつには、わたしたちの社会や家族の有り様の問題でもある。わたしたちの社会では、なぜ今このこと(介護でも尊厳死でも脳死でも何でもよい)が問題となるのか、という問いである。この点を考慮しないで目先の問題解決だけを追うなら、発達した医療技術によるねじれ現象が容易に生じてしまう。アシユリー事件はそのようなねじれを表わした典型的な出来事であったのではないだろうか。

(関西学院大学神学学部教授)

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

2013 年度事業報告 (総括)

2013 年 4 月より公益財団法人として活動を開始した当財団の 2013 年度の事業活動は、以下の通りである。

1. 事業の推進

1) 公益目的事業

(1) 東・西活動センター

- ①フォーラム事業及び研修・セミナー・体験交流事業を継続し、発展させた。
- ②アカデミー運動の理念に従って今日的な社会の課題に対する認識を深め、それにふさわしい新規プログラムの開発に取り組んだ。
- ③東・西活動センター合同プログラムとして、前年度から継続して神学生交流プログラムを実施した。

(2) 関西セミナーハウス

- ①当財団の事業展開の拠点として、関西セミナーハウス活動センターの公益目的事業に施設を提供した。また、当財団の目的達成に資する諸団体が行う公益目的事業を支援するため、宿泊施設、会場を諸団体、教育機関・学会・研究会活動等の広い利用に供した。
- ②東・西活動センターでの公益活動への財政的貢献を行った。

(3) 広報活動

- ①機関紙「はなしあい」を通して、諸活動(フォー

ラム事業、研修・セミナー・体験交流事業等)及び年度事業計画、事業報告等を広く広報した。

- ②東・西活動センター及び関西セミナーハウスの活動状況については、ホームページ等によって継続的に情報を発信した。

- ③関西セミナーハウス活動センター主催の「エネルギー問題を考える」プログラムに関する報告書を出版した。

2) 収益事業

(1) 関西セミナーハウス

公益目的利用外の一般利用者、企業等への宿泊研修施設の貸出を行い、その収益の一部を公益活動に資した。

(2) 日本キリスト教会館

当財団所有の事務所スペースの一部を貸与し、その収益を公益活動に資した。

2. 事業運営推進

公益事業の推進に当たっては、継続的事業、新規プログラムを問わず、予算計画を持ち、必要財源を確保しつつ、安定的継続可能な運営を行った。

3. 賛助会員、寄附金

公益法人への寄付により受けられる税制優遇措置を活用し、アカデミー運動を支援する賛助会員数および寄附金額を増加させた。なお、新たに終身会員制度を設けた。

正味財産増減計算書

2013 年 4 月 1 日から 2014 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	3,000	3,609	△ 609
特定資産運用益	594,311	595,828	△ 1,517
受取者受取会費	2,377,000	1,718,000	659,000
参加者受取会費	3,585,912	3,923,605	△ 337,693
事業受取寄付金	111,379,912	117,331,628	△ 5,951,716
雑収益	4,744,892	2,470,461	2,274,431
	473,791	249,250	224,541
経常収益計	123,158,818	126,292,381	△ 3,133,563
(2) 経常費用			
事業管理費	141,069,807	137,819,131	3,250,676
	6,374,422	14,394,257	△ 8,019,835
経常費用計	147,444,229	152,213,388	△ 4,769,159
当期経常増減額	△ 24,285,411	△ 25,921,007	1,635,596
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	2	△ 2
経常外費用計	0	2	△ 2
当期経常外増減額	0	△ 2	2
当期一般正味財産増減額	△ 24,285,411	△ 25,921,009	1,635,598
一般正味財産期首残高	462,094,271	488,015,280	△ 25,921,009
一般正味財産期末残高	437,808,860	462,094,271	△ 24,285,411
II 正味財産期末残高	437,808,860	462,094,271	△ 24,285,411

関東活動センター

●「あたらしい聖書の学び」

「イエスの世界の女性たち」(全二〇回)

日本フェミニスト神学・宣教
センター共同ディレクター 山口 里子さん

2014年4月8日(火)〜2015年2月10日(火)

早稲田奉仕園スコットホール

共催 早稲田奉仕園



関東活動センターでは「聖書講座」をプログラムの柱として、昨年よりシニアクラスと入門クラスの二本立てにして形成を始めています。今年四月に開講したのはシニアクラス。講師には三年連続で山口里子さんをお迎えし、来年二月まで一〇回の講座を予定しています(入門クラスは、秋より、「マルコによる福音書を読む」「仮」として五回開講予定)。

今回の講座は「へ新しい聖書の学び」イエスの世界の女性たち。紀元一世紀ほどのような世界であったのか、最新の考古学・人類学などの情報を活用する新しい聖書学の成果を用いて、貧しい庶民たちの視点に立って、その中でも女性たちに「歴史的想像力」を広げて学ぶことを課題とし



日本では高齢化と共に認知症の割合が増えている。また高齢者が都市部に集中していく傾向があり、十年後には、団塊の世代が後期高齢者にな

るため、ますます施設や介護の人手が不足する。高齢者事業を新たな市場ととらえて参入する企業もあるが、基本的人権に配慮した福祉の理念が忘れられてはならない。外国からの担い手の誘致も、需要に追いついていない。対策の一つとして、在宅の介護を地域で支えられるように、中学校区ぐらゐの単位で、医療、介護、生活支援が切れ目なく一体化して、持続可能

関西セミナーハウス活動センター

●2014年度 修学院フォーラム「福祉」第1回

「認知症・高齢者介護」わが国の医療・福祉のあり方を考える」

京都府立医科大学名
誉教授 神経内科医師 中島 健二さん

2014年4月19日(土)

日本基督教団 世光教会

ています。『マルタとマリア―イエスの世界の女性たち』(新教出版社)をテキストに、講師と共に詳しく学んでいきます。四月、五月と二回開講しましたが、いずれにも幅広い年齢層の参加者が二五名程度与えられています。今回特徴的

なのは、改めて聖書を学び直す機会を得たいと、首都圏、及び近郊の教会で奉仕している若手の牧師や伝道師たちが参加していることでしょうか。熱心な受講者たちと想いを一つにして学び続けていきたいと思ひます。

な形で行えるシステムの構築が紹介された。

一方少子化対策には、増税してもなお十分な予算がつかない。女性の労働を促進する子育て支援の政策も十分ではない。講師は、少子化と高齢化の問題は一体に捉えるべきであると述べた。

講演の後、参加者全員からひと言ずつ発言を求め、質疑応答の形で話し合いが進められた。実際にぶつかっている問題や課題と成果などが分かちあわれ、一人で抱え込むのではなく、話し合える場や時が必要である。

中島先生をお迎えして二度目の出張開催であり、教会や地域において、持続的に取り組むことができるような場をつくって行く必要を確認した。



プログラム案内

◆**関東活動センター**

■**新しい聖書の学び**

「イエスの世界の女性たち」(全10回)

講師：山口里子さん(日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)

日時：4月～2015年2月
第2火曜 18:30～20:00

会場：早稲田奉仕園スコットホール2階222号室

参加費：1,200円/学生500円

共催：早稲田奉仕園

■**今日的課題プログラムI**

『自死』に遭遇した人への慰めとは」

講師：賀来周一さん(キリスト教カウンセリングセンター相談室長)

日時：③6月9日、④7月14日、⑤8月4日 月曜 14:00～16:00

会場：日本聖書神学校

定員：10名(先着順)

参加費：1回2,000円

協賛：日本聖書神学校キリスト教研究所

■**関東フォーラム宗教対話I**

「古典で読む20世紀」第2回

「K.マルクス『賃労働と資本』」

講師：武田利邦さん(農村伝道神学校講師)

日時：7月25日(金) 18:30～20:30

会場：早稲田教会ロビー

参加費：500円

■**関東フォーラム宗教対話II**

「大人に響く絵本」第1回

財団本部 <http://www.academy-nippon.com>
 関東活動センター <http://www.academy-tokyo.com>
 関西セミナーハウス <http://www.kansai-seminarhouse.com/>
 関西セミナーハウス活動センター <http://www.academy-kansai.org>

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
 代表理事 小久保 正

本部事務局
 〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
 TEL 075-711-2147
 FAX 075-701-5256

関東活動センター
 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
 日本キリスト教会館6F
 TEL 03-3207-6198
 E-mail:info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス /
 関西セミナーハウス活動センター
 〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
 FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス
 TEL 075-711-2115
 E-mail:info@academy-kansai.com

関西セミナーハウス活動センター
 TEL 075-711-2117
 E-mail:office@academy-kansai.org

「木～tree」

講師：増田 琴さん(巣鴨ときわ教会牧師)

日時：6月27日(金) 15:00～17:00
 会場：早稲田教会ロビー

参加費：500円

◆**関西セミナーハウス 修学院きらら山荘**

■**能を楽しむタペ in 修学院きらら山荘**

第18回 能『班女』

日時：7月11日(金) 17:30～
 解説・出演：林宗一郎さん(観世流能楽師)

定員：50名

能観賞料金：1,800円/大学生1,200円(ご宿泊者1,000円)

■**林宗一郎を囲んでの懇親会**

日時：上記能楽鑑賞後

会場：関西セミナーハウス 茶室清心庵
 費用：1,500円(ご宿泊者1,300円)

■**月釜 清心会**

日時：7月13日(日) 9:00～15:00受付
 (1、8月を除く年10回)

於：関西セミナーハウス
 年会費：5,000円、臨時会費1,000円

◆**関西セミナーハウス活動センター**
 いずれも会場、関西セミナーハウス

■**お茶のこころと宗教のこころ**

第1回「お茶のこころと信仰～歴史から見えてくる光と陰」

講師：杉野 榮さん(日本バプテスト連盟京都洛西教会協力牧師)

日時：7月7日(土) 13:30～17:00
 参加費：2,000円(抹茶、菓子込)

■**開発教育セミナー**

2014年度第2回「縮小社会～これからの私たちのくらしをデザインする」
 講師：松久 寛さん(縮小社会研究会代表、京都大学名誉教授)

日時：7月12日(土) 16:00～13日(日) 12:00

参加費：10,500円(1泊2食込)

■**2014年度修学院フォーラム「いのち」**

第1回「“コントロール幻想”と新・優生思想の時代」

講師：児玉 真美さん(作家)
 日時：7月19日(土) 13:30～17:30
 参加費：2,000円/学生500円

賛助会費・寄付金報告

2014年4月1日～2014年4月30日
 (順不同・敬称略)

◆**財団本部**

寄付金
 武藤 高司 10,000
 日本基督教団早稲田教会 25,000

◆**関東活動センター**

賛助会費
 吉田 博 5,000
 犬飼 護郎 5,000
 山田 利三郎 5,000
 中富 穎隆 5,000
 吉田 豊 5,000
 徳久 俊彦 5,000
 手島 毅郎 5,000

寄付金
 小沢 英輔 10,000
 日下 まり子 5,000
 香月 茂 2,000
 日野原 重明 1,000
 松原 悦子 2,000

◆**神学生交流プログラム募金**

小沢 英輔 10,000
 吉田 博 5,000
 吉崎 聆子 5,000
 斎藤 宏 3,000

◆**関西セミナーハウス**

寄付金
 黒岩 裕二 5,000
 小久保 正 10,000
 島田 恒 20,000
 長谷川 義紘 5,000
 手銭 秀夫 5,000
 牛尾 宣夫 10,000
 武藤 高司 10,000

◆**関西セミナーハウス活動センター**

賛助会費
 久保田 暁一 5,000
 田中 潤治 5,000
 真鍋 裕子 10,000
 黒原 諄二 5,000
 黒田 睦子 3,000
 林 律 10,000
 吉中 直子 5,000
 立石 昭三 3,000
 中山 晴美 5,000
 保田 茂 3,000
 葛原 茂樹 5,000
 斉藤 洋子 5,000
 北風 照子 5,000
 浅田 凉子 10,000
 塚本 誠一 5,000
 岡安 茂祐 5,000
 根岸 宏邦 10,000
 福岡 誠之 5,000
 浅川 具美 10,000
 篠原 文浩 5,000
 保田 茂登 5,000
 東 千代 3,000
 橋 俊子 60,000

寄付金
 岡安 茂祐 5,000
 長谷川 義紘 5,000
 中島 健二 10,000
 金山 顕子 940
 松尾 光雄 500

以上、感謝をもってご報告申し上げます。